

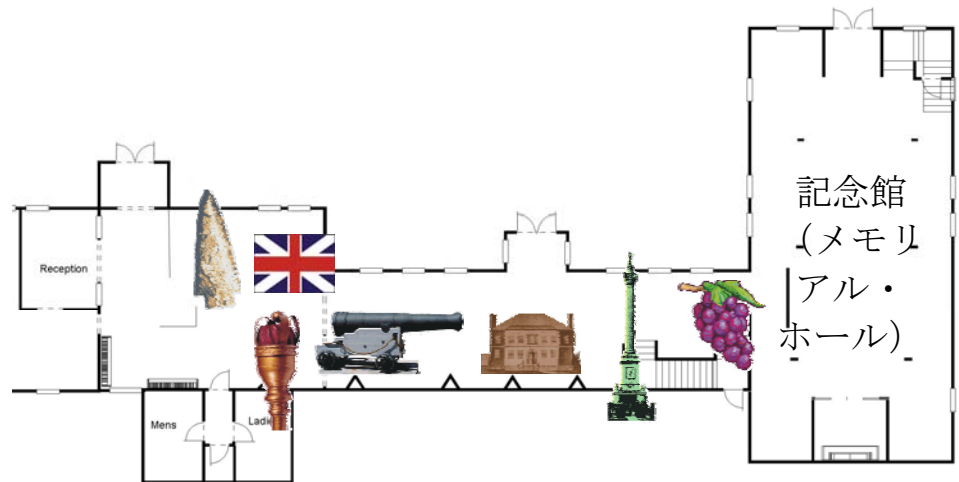


ナイアガラ・オン・ザ・レイクの歴史

常設展示会場の各所には、このガイドに記されているのと同じように、印が設置されていますので、美術館に入館されてからは、この印に従って進むことで、会場を回ることができます。

私達の道のり

10,000年以上も前に氷河が後退してから、大勢の様々な人々が、ナイアガラを故郷と呼んできました。アメリカ独立革命後には亡命者が定住し、この土地に劇的な変化をもたらしました。その後、街はオンタリオ内でも、最も重要なコミュニティとなり、何十年もの間、重要な立法と司法の中心地となりました。ナイアガラの人々は、自分達の家が戦争によって破壊されていくのを、産業が発達し後退するのを、農業形態が変わり、交通手段が変化し、そして経済が発達し、また破綻するのを目にしてきました。様々な要素が重なり合って、このユニークなコミュニティが作り上げられてきたのです。どうぞ私達の旅におつきあいください。



記念館

(メモリアル・ホール)

1907年に公開された記念館は、美術館として初めてオンタリオ州に建設された建物です。今日、この美術館では毎年記念館で2回から3回、臨時展示会が行われ、ナイアガラの歴史の様々な側面や、ナイアガラの世界における位置づけを探る機会となっています。二階にはジャネット・カーノチャン・ギャラリーがあります。ここには、常設展示会や臨時展示会の会場には収まりきれないものの、ナイアガラの歴史の素晴らしい例となるような遺物が保管されています。このギャラリーでは、美術館のコレクションにあるたくさんの素晴らしい遺物を紹介するために、内容が定期的に交替されています。



ナイアガラの最初の人々

ナイアガラでは、11,000年以上前から、つまりヨーロッパからの開拓者が15世紀にアメリカ大陸を「発見」するよりもずっと前から、先住民の人々が生活を営んでいます。この最も昔からの居住者達は、遊牧生活を営む狩猟・採集民族でした。時が経つにつれて、食の源としての農耕が重要性を増し、先住民の定住がより永続的なものになりました。紀元前1300年あたりから、ニュートラル族を含む、独特の部族が出現しました。ニュートラル族は1650年あたりにイロコイ族に倒される1650年あたりまでナイアガラに住んでいました。ニュートラル族の崩壊の後には、セネカ族とミシサガ族が一時的にナイアガラ地域に定住しました。



ロイヤリスト達

ユニテッド・エンパイア・ロイヤリストとは、大英帝国の統一を強く支持し、1782年の分離条約以前にアメリカのロイヤル・スタンダードに加入したアメリカの開拓者のことです。彼らは多様な人種・民族から成り、様々な社会的地位、宗教に属する人々でした。彼らは英国の政治体制の下に不正は明らかにされるべきと信じ、共和主義のアメリカ人と別離するために、自身の人生、家、土地、財産を犠牲にしました。80,000近くの亡命者がケベックや、大西洋岸の海岸地域、英国、英国のカリブ地域、そしてアフリカへ逃亡しました。5,000人ほどが再び開拓をするためにナイアガラへ逃亡しました。



州都の時代（1792～1796年）

1791年12月26日には、アッパー・カナダ(Upper Canada)が形成されました。英国議会は、ジョン・グレイブス・シムコーを最初の知事とし、ニューアーク（現ナイアガラ・オン・ザ・レイク）を州都と決定しました。この出来事は今日のオンタリオ州の基盤となっています。



戦場ナイアガラ（1812～14年戦争）

1812年6月18日、アメリカは英国に宣戦布告をしました。その後3年間、ナイアガラはアメリカの侵略と血なまぐさい戦いの繰り広げられる戦争地域となりました。カナダ国家の将来の行く末は不安定な状態に陥りましたが、最終的には、アッパー・カナダは維持されることとなりました。



ナイアガラの再建

1815年初期に「1812-1814年戦争」は終わったという噂が流れました。戦線から帰ったナイアガラの男性達は、自分達の家や仕事が破壊されてしまったことを知るのでした。そして、何年にも及ぶ再建の試みを始めました。1831年のナイアガラ・ハーバーと、ドック・カンパニーの設立は、町の繁栄をさらに後押ししました。しかしながら、1860年には、商業の中心と州都は、ウェランド運河の流れるセント・キャサリンへ移動してしまいました。ナイアガラは不況に陥り、農園は果樹園に姿を変えました。この期間、ナイアガラはアメリカの逃亡奴隷、敗北した南部に加勢した役人、そして英国からの孤児などの避難所として知られるようになりました。



成年期

1870年代の初頭には、ナイアガラ・オン・ザ・レイクは、州都、ドック・カンパニー、そして1870年代の駐屯地の移動など、数々の経済的妨げを経験していました。しかしながら、ナイアガラに住む人々はナイアガラを支えていくために他の手段を見出したのです。観光とナイアガラの過去を偲ぶ記念式、これらは、町の重要な特色となりました。



20世紀

第一次世界大戦と第二次世界大戦の間、何千もの兵隊が海外へ出向く前に、ジョージ陸軍駐屯地で訓練を行いました。この時期ナイアガラ駐留地は街のなかでも重要な地域でした。この駐留地は朝鮮戦争の後に運営が停止され、ナイアガラは新たな方向性を見つけることが必要となりました。しばらくの間、ナイアガラ・オン・ザ・レイクは確固とした衰退の方向にありました。今日、ナイアガラ・オン・ザ・レイクは建築遺産やワイナリー、そしてシャー・フェスティバル・シアターなどで良く知られています。コミュニティは、都市のエリアではその域を拡大させ、田園地帯では繁栄し、成長を続けています。